

GIGAスクール構想のもとでの高等学校特別活動の指導について

GIGAスクール構想のもとでの高等学校特別活動の指導において ICTを活用する際のポイント

新学習指導要領とICT活用の関係

高等学校新学習指導要領特別活動の目標（全体目標）は以下の通りとなっている。

集団や社会の形成者としての見方・考え方を働かせ、様々な集団活動に自主的、実践的に取り組み、互いのよさや可能性を発揮しながら集団や自己の生活上の課題を解決することを通して、次のとおり資質・能力を育成することを目指す。

- (1) 多様な他者と協働する様々な集団活動の意義や活動を行う上で必要となることについて理解し、行動の仕方を身に付けるようにする。
- (2) 集団や自己の生活、人間関係の課題を見だし、解決するために話し合い、合意形成を図ったり、意思決定したりすることができるようにする。
- (3) 自主的、実践的な集団活動を通して身に付けたことを生かして、主体的に集団や社会に参画し、生活及び人間関係をよりよく形成するとともに、人間としての在り方生き方についての自覚を深め、自己実現を図ろうとする態度を養う。

- 特別活動の指導計画の作成に当たり、生徒の主体的・対話的で深い学びの実現を目指した授業改善を進めることとし、特別活動の特質に応じて、効果的な学習が展開できるように配慮する。
- もちろん、「効果的な学習が展開できるように配慮する」にはICTの活用が含まれる。
- 特別活動の指導に当たっては、その方法原理である「なすことによって学ぶ」直接体験が基本であるが、指導内容に応じて、適宜コンピュータや情報通信ネットワークなどを適切に活用することによって、生徒の学習の場を広げたり、学習の質を高めたりすることができる。

特別活動の特質「集団活動、実践的な活動」の代替としてではなく、特別活動の学習の一層の充実を図るための有用な道具としてICTを位置付け、活用する場面を適切に選択し、教師の丁寧な指導の下で効果的に活用することが重要。

GIGAスクール構想のもとでの高等学校特別活動の指導において ICTを活用する際のポイント

特別活動の学習過程

ホームルーム活動

問題の発見・確認

解決方法等の
話し合い

解決方法の決定

決めたことの実践

振り返り

次の課題解決へ

生徒会活動

問題の発見
議題などの設定

解決に向けての
話し合い

解決方法の決定

決めたことの実践

振り返り

次の課題解決へ

学校行事

行事の意義の理
解

計画や目標につい
ての話し合い

活動目標や活動内
容の決定

体験的な活動の実践

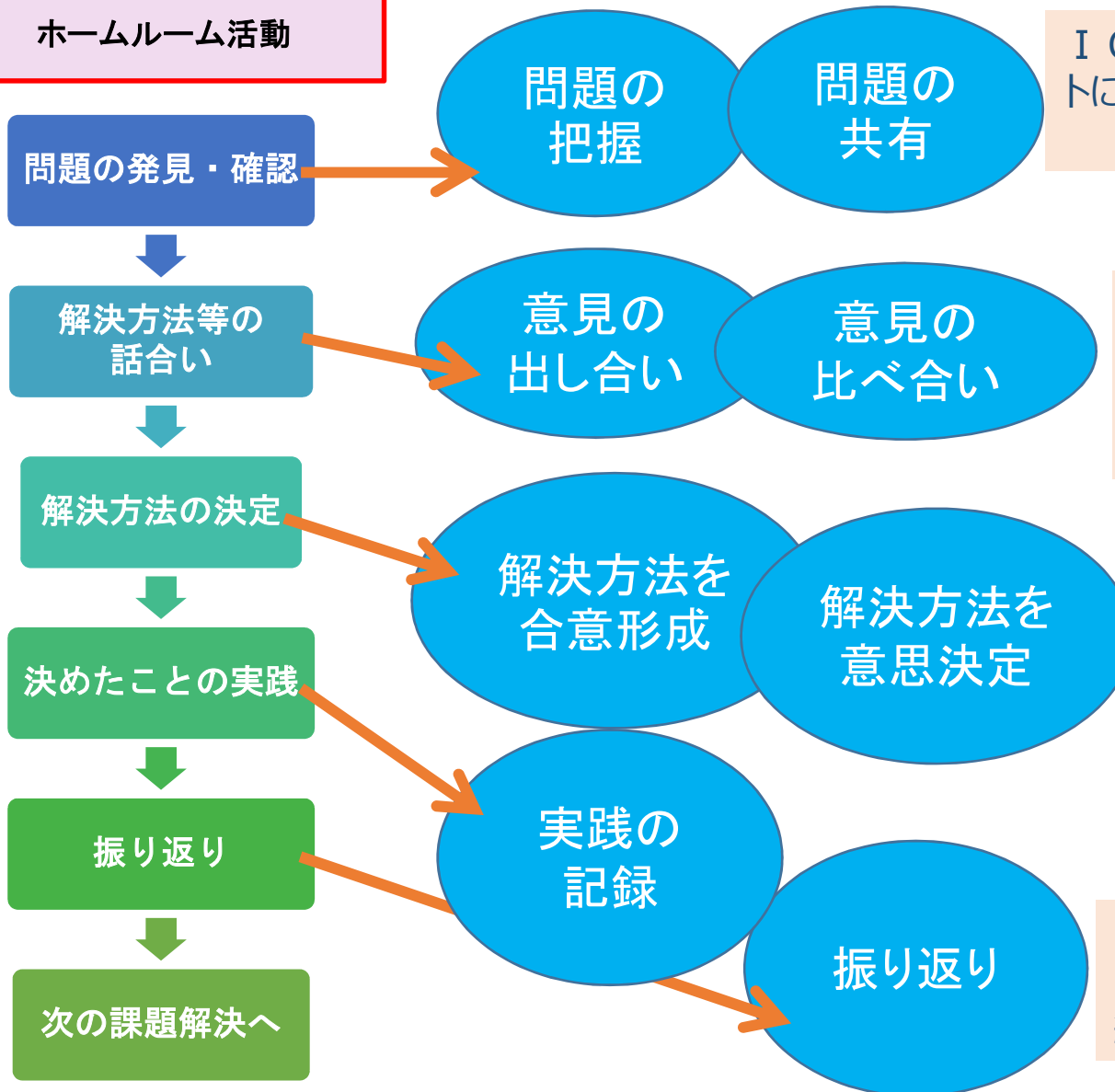
振り返り

次の課題解決へ

GIGAスクール構想のもとでの高等学校特別活動の指導において ICTを活用する際のポイント

特別活動の学習過程とICT活用の関係（例：ホームルーム活動）

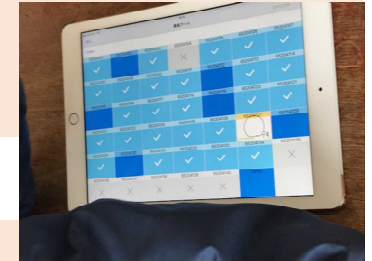
ホームルーム活動



ICT端末で様々な生活場面を撮影したり、ウェブサイトにアクセスしたりして、必要な情報を収集し、学校生活や社会の問題を見いだす。



問題の把握、共有を経て、ICT端末で個人の意見を表明し合うとともに意見を比べ合い整理する。



話し合い活動を経て、ICT端末を活用して解決方法を集団として合意形成、個人として意思決定する。



実践をICT端末で各自撮影、編集し他者と共有したり、互いの記録を統合して次の課題解決につなぐ。